

COLUMN

鎌倉の猫事情 第四十五

子猫たちは立派に成長しました。

母猫スィービーが来る日も来る日も辛抱強く6匹の子供たちにおっぱいを飲ませてあげたおかげです。生まれたときはタラコ(変なたとえですが)くらいの大きさだったのに、皆耳もピンと立って、両親に似た青い眼を開けて、鼻も少し黒くなって来る子もいて、父猫の血を感じます。ご飯の時には全員で可愛い四本の足で餌場に駆けて行きます。もうどの子もうんちを失敗しません。蚤もだいたい退治できたようです。まあ、グーニーくんも今回はまあまあ努力したかもしれません。子猫たちに対して少しは父親らしくできたようです。

さあ、そろそろその時を迎える準備ができたようです。ミルクホールタイムスの里親募集に応えて下さった方が待ち兼ねています。男の子が希望の方、女の子がいい家、6匹の行き先は決まりました。大きな子から順番にもらわれて行くのです。寂しい気持ちになりますが、里親のかたの、嬉しそうなお顔をみるとほっとします。

6匹の兄弟はいつも全員固まって寝ていましたから、その白くてふわふわした塊がだんだん小さくなっていきます。兄弟は少なくなるほどしっかり抱き合って眠ります。その中から1匹1匹をつまみあげて、里親になる方の手に渡します。

ついに最後の2匹……兄弟はなにも知らず抱き合って眠っています。できれば最後の2匹は日をずらしたいと思っていましたが、2匹の旅立ちが同じ日の同じ時間になってしまいました。里親は共に二組の若いカップルです。偶然同じベット用バッグを持って、それぞれ帰っていかれました。この最後の2匹を見送った時には、少し涙が出ました。

あとで聞いた話ですが、二組の方は同じ東京へ戻られる予定だったので、車で来た方の方が一緒に……と誘われて車に同乗したそうです。すると走り出した車の中で、同じベットバッグから2匹ともごそごそ出てきたのだそうです。そして、目的地に着くまでしっかり抱き合っていたそうです。

その夜、スィービーは私のところに来てそして不安げに泣いて見上げます。いったい私の子供たちは皆どうしちゃったの？と訴えているのです。

私はスィービーに言いました。
「スィービーちゃんが一生懸命大切に育ててくれたから、皆いい子に育って、新しい家で

これから幸せにくらすのよ、だから大丈夫」
スィービーは、じっと私の顔を見て、
そして納得しようにうなずきました。

to be continued



クリスマス・

Invader



真夜中の2時……暗闇を包むどんよりとした気配がして重い瞼を開けてみる。この胸苦しさは、ベッドの上で私を取り囲んでどっかりと眠る3匹の猫のせいばかりではないようだ。「あの……」聞き覚えのある同居人の声。この同居人かれこれ10年来のつきあいだが、いまだ姿を見せたことがない。いつも私の部屋の空中を生温かい風と共に通り過ぎていく。以前、不気味な風体の悪魔と連れ立ってやってきた。彼もこの部屋を通るのでよろしくというわけだ。不愉快な申し出だけれど怖くて断ることもできなかった。この声を聞くのはあの時以来、久しぶりである。「すみません、あなた。悪魔を最近見かけませんでしたか?」「何ですって? あの悪魔を? 見かけませんよ。見かけたくないし……」「そうですか。いや皆で探しているんです。まったくもうクリスマスも近いというのに、どこへ行ったのやら、天上でも困っているのですよ」「は……?」「一番年寄りの天使も、ひどく心配して探しに行ったまま帰ってこないのです。きっとどこかに落ちこちてるのだろうな」「天上? クリスマス? 天使? 落ちこちたあ? いったいなんなんです、それは。あの不気味な悪魔と天使がいったいなんの関係があるんです? や、やっぱり、天上なんて言っても政治家みたいにどこかで癒着ってというか、つながったりして、そんな、……そ、そうなんですか?」「いや、それは……君に言っても分からないとは思いますが……」「ちゃんと説明してくださいよ」「いや、つまりですね。なんにでも存在には二面性があるという事です。天使と悪魔は同時にしか存在し得ないわけです。天国と地獄もわかりですな。悪魔がいなくちゃ天使の美しさはわからないし、地獄がなければ天国のありがたさはわからない。だからどちらかがいなくなると大変困るのです」「はあ……」「分かってくれたかな? 僕もこれからあちこち周って悪魔や天使たちに連絡をとりに行く所にちょっと通りがかっただけなんです、いや、時間を食ってしまった」「え? あちこち? 天使や悪魔? そんなにそこらじゅうにいるんですか?! それで皆でクリスマスに何をしますんです?」もう、とっくに同居人はいなくなっていたようだ……闇の中を6つの光る目!! なんだ猫達か。部屋の中にはただ生温かい風が吹いているだけだった。

Over-stolz



看板デザイン制作
デザインから、取り付けまで
木製看板
アクリル照明入り看板

グラフィックデザイン
・ロゴデザイン・HPデザイン制作
・広告印刷物デザイン及び製作
・ミルクホールタイムスのように
定期刊行物などもご注文に応じて

Milk Hall 2004

ミルクホールタイムス

総集編発行について

WANTED!

タイムス総集編はただ今作業中です。3年間の思い出深いさまざまな出来事や、数知れない人達との出会いと別れ、蚤の市や青空市などの数多くの催事の記録、18年分の膨大なタイムスの資料と奮闘しています。というわけで難航しており総集編お待ちのお客様には、ご迷惑おかけしますが、もう暫くお待ち頂こうお願い致します。愛読者の皆様からミルクホールでの思い出話等、編集についてのご投稿を募集しております。子猫の里親の方々へ総集編にて掲載する予定のグーニー家の系図を作成したいと思います。ミルクホールから里親の方々にもらって頂いた子猫は全部で32匹です。グーニー家系図作成にご協力ください。ミルクホールタイムス編集者より



ミルクホール工房のご案内

DESIGN

店舗設計 商業施設・店舗の企画プランニング・デザイン設計・見積もり設計管理

小さなショップから、少し大きなお店まで
店作りが一番重要なことは、まずは入りやすいこと。そのために必要な導入ラインと平面プラン、総合的なプランニング、設計、サインや看板、商品構成など

住宅設計

注文住宅設計 住宅リフォーム改装

注文住宅はとても高価で無理！
とあきらめましてはいませんか？

お仕着せの家や既製品で組み立てた家でなく、自分にあつた家作りを一緒に考えます。ほんの少しの工夫で、無理ない予算の範囲でのご自分だけの家作りが可能です。どうぞお気軽にご相談を！

家具製作・修復

特注家具のデザイン製作

既製品の家具では、どうしても使い勝手が悪いという方、身の周りの家具をあなたのご注文通りに作り上げます。

古家具・アンティークの修理

大切にしている家具が調子が悪い、壊れてしまったもの、少々手を入れたいアンティーク家具や、日本の骨董家具など、スタッフの手で生き返らせます



スタッフ

デザイン設計担当
滝川史子

HP担当 家具制作・修復
磯見 藩 曾根 昌幸
坂倉 直人

グラフィック
デザイン
木村理恵



ミルクホール

MILK HALL NOW

TOPICS

通信

砥部焼きの歴史

ミルクホールの骨董コーナーに真っ白な生地にくっきりと青で鯨の絵が描かれたモダンな磁器が並べられています。先月入荷してから多くのお客様の目を惹き、年代を超えて人気があります。見たところそれほど古い感じでもなく、とって現代のものとも少し感じが違います。実は、四国の伝統的な焼き物、砥部焼きのデッドストック物なのです。時代は昭和25年から30年まさに日本復興の時のものです。たぶん産業の再生を賭けて輸出用に作ったものなのでしょうが、売れ残り 倉庫に50年もの間眠っていたのです。砥部焼きはもともと江戸時代、大洲藩で始められましたが、平安王朝の古い文献にも、良質の砥石の産地として砥部の地が記されています。砥部焼きがはじまったのは慶長年間と言われ、朝鮮半島から渡来した陶工たちによって日用雑器類などが作られていたようですが、本当の意味での砥部焼きは、安永六年、杉野丈助によって成功を見た白磁をもって始祖とされています。やや厚手で、しっとりとした重味があり、白磁の肌に映える呉須絵と青磁物が現在国の伝統的工芸産業の指定を受けて居り、砥部焼き本来の姿と言えますが、様々な陶匠たちの研究と時代の要求によって肌の色も、又色釉の冴えにも巾広いバラエティーが加わり現在の姿になっています。一時は輸出で栄えた陶磁器産業も時代の移り変わりで衰退の途を辿っています。生き残り賭けた当時の職人の心意気を感じる鯨の器です。砥部焼き 小皿 100円より 猪口 180円

ANTIQUES.....

THE ²⁰⁰⁴ LAST BZAAR 12/23 *Tue.* 24 *Fri.*

伊万里 古陶磁 全品
和洋家具
古民芸
アンティーク

20%off

新入荷情報

古陶磁

四国砥部焼鯨絵染付新入荷

昭和25年～30年頃輸出用デッドストック
敗戦後の日本で産業の再生を賭けて輸出用に焼かれ、
そのまま倉庫に眠っていた在庫の品です。
珍しい鯨の絵がモダンなデザインで好評です。
まだ産地に残る残った品を探しました。

猪口・小皿各種の他、鉢等入荷

古伊万里小皿 鉢

大正時代色絵碗・皿入荷

昭和漫画子ども碗

明治銅版そば猪口ほか

伊万里そば猪口 明治鉢

李朝白磁 青磁

古民芸

大正時代輪島漆椀

銭函 桶など

李朝台 火鉢 樽など

アンティーク

大正時代ランプシェード

大正ガラス器各種

レプリカ照明器具各種

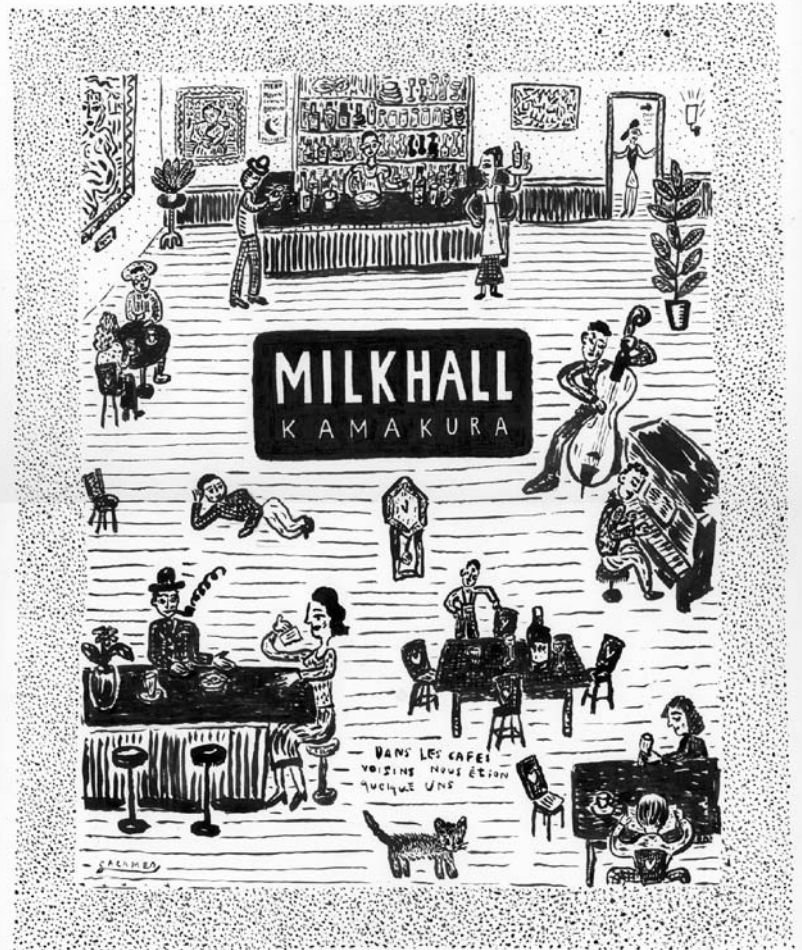
ランプシェード金具付

¥3800より

和洋家具

昭和初期布張りベンチ入荷

大正時代衣装箆笥



Milk Hall

NOW

ミルクホールのオリジナルグッズ
が登場いたしました。

by ミルクホール&ささめやゆき

ミルクホールオリジナルグラス5種類 5個セット 350円

ミルクホールオリジナルTシャツ 2種類 250円

三角灰皿 1個 85円 タンブラー 1個 70円



LIVE

by 琢磨 仁 (Jin Takuma)
琢磨 啓子 (Keiko Takuma)
HALF MOONの音楽は
愛と平和を歌います。

12/31 Sat. pm10:00

ミルクホール恒例のカウントダウンパーティです。
2004年最後の夜をミルクホールで過ごしませんか？
ハーフムーンのライブと MILK HALLのBART MEを
2005年の年明けまでお楽しみください

<http://www.e-half-moon.com/>



オリジナルグッズに描かれている5枚の絵は、
鎌倉在住の版画家であり、挿絵作家でもある、
ささめやゆき氏が、数年前ミルクホールのために
描いて下さったものです。
氏は、最近では月間『すばる』の表紙を描かれていること
で知られています。別名細谷正之と二つの名を持つ、
とても個性的な版画家です
昔見た童話のように、時代や、国や、時空を超えて、
私達に夢の世界を思い出させてくれる、懐かしくて、
可愛くて、ちょっともの悲しくなるような世界を
本や版画の中で作り上げています。
ミルクホールでは、この絵をモチーフにオリジナル商品
を色々企画制作中です。
またささめやゆき氏の、版画ポストカード、絵本なども
販売していく予定です。

